

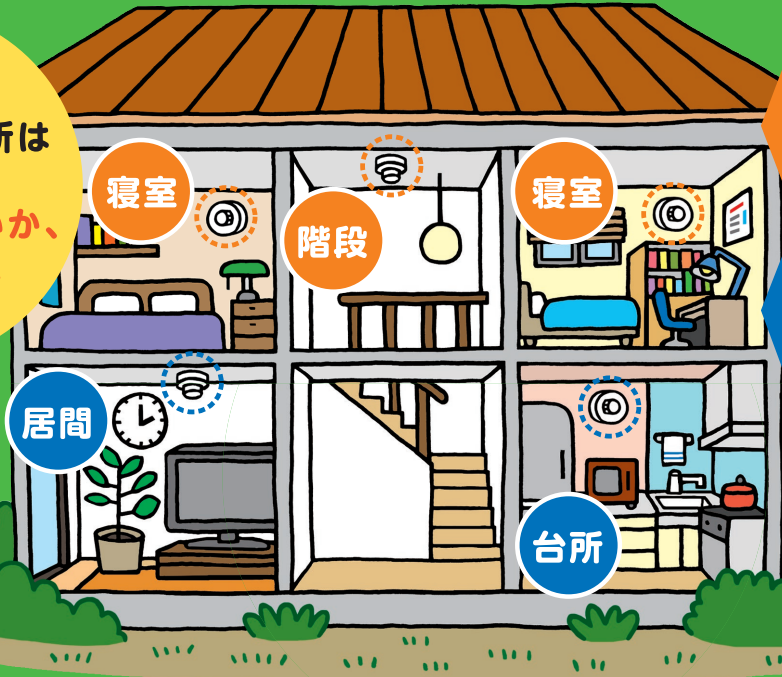
取り付けていますか？ 住宅用火災警報器



でも、
一家に一個
ではダメ！

大切な家族の暮らしや命 を見守る火災警報器。
消防法の改正により、設置が義務付けられているんだ。
取り付けていないと、**とっても危険だよ！**

取り付ける場所は
ここだよ！
付け忘れがないか、
確認してね！



取り付けが
義務付けられている所
(寝室・階段)

取り付けを
おすすめする所
(台所・全ての居室)

※市町村条例により、取り付けが義務付けられている場合があります。

取り付け場所は
ここで確認！



市町村条例別の設置場所

検索

警報器が鳴ったら！



ピーピーピー

火災の時



ピーピーピー 火事です

- 火元を確認する。
- 周りに**大声**で知らせる。
- 避難する。
- 119番通報**する。
- 可能なら**初期消火**をする。



火災ではない時



ピーピーピー 火事です

- 火災でないことを確認する。
- 警報音を止める。
警報器の押しボタンを押すか引きひもを引く。
- 室内換気で音が停止。

※予想される原因
くん煙式殺虫剤、ホコリや虫、
調理時発生の大量の煙や水蒸気



電池切れの場合



ピッ 電池切れです

- 警報音を止める。
警報器の押しボタンを押すか、引きひもを引く。
- 本体か電池を交換する。

※設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。



機器異常の場合



ピッピッピッ 故障です

- 警報音を止める。
警報器の押しボタンを押すか、引きひもを引く。
- 本体を交換する。



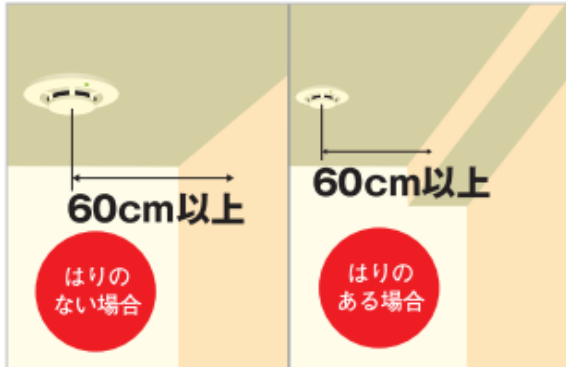
◎取り付け方は？

火災警報器は、天井や壁に取り付けることができます。

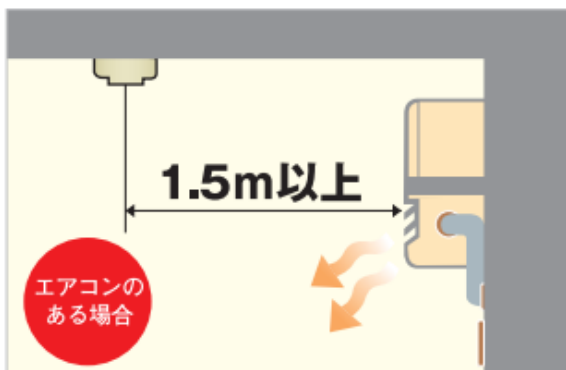
詳しくは取扱店へ相談したり、取扱説明書をよく読んで、正しい位置に取り付けましょう。特につぎの点に注意してください。

《火災警報器の取り付け方（例）》

天井へつけるときは、ここに注意。

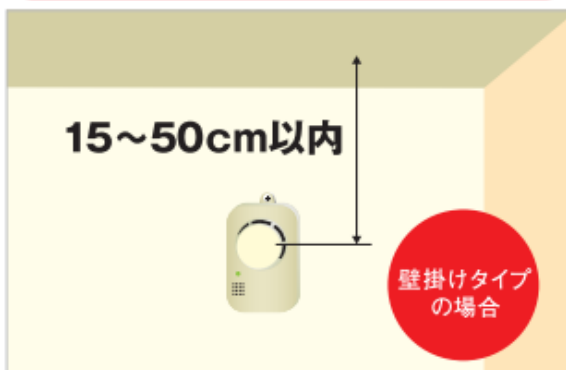


注意：火災警報器の中心(感知部)を壁から60cm以上離して取り付けます。天井にはりがある場合には、火災警報器の中心から60cm以上離します。



注意：エアコンや換気扇の吹き出し口付近では、1.5m以上離しましょう。

壁の取り付けがここがポイント。



注意：天井から15～50cm以内に火災警報器の中心(感知部)がくるようにします。

◎お手入れは？

火災警報器はいざというときに効果を発揮するのですが、長く取り付けていれば、家電用品と同じように故障したり、交換が必要になります。実際に火災がおきた時に、きちんと警報されるよう、つぎのようなことに注意してお手入れをすることをおすすめします。

火災警報器のお手入れ3つのポイント

1 乾電池タイプは交換を忘れずに。

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに「電池切れかな？」と思ったら、早めに交換することをおすすめします。また電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。

2 おおむね10年をめどに、機器の交換が必要です。

火災警報器の交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか「ピー」という音などで交換時期を知らせます。そのめどがおおむね10年です。詳しくは購入時の取り扱い説明書を確認してください。



3 定期的に作動するか点検しましょう。

定期的（1ヶ月に1度が目安です。）に、火災警報器が鳴るかどうか、テストしてみましょう。また長期に家を留守にしたときにも、火災警報器が正常に動くかテストしましょう。

点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なりますから、購入時に点検方法を確認しておきましょう。



弘前地区消防事務組合

【お問合せ先】 消防本部予防課 32-5104